

# 利用者・国民の声を日本航空社長に届けるため 「メッセージカード」のお願い



2010年12月、日本航空で客室乗務員とパイロット、165名が整理解雇され、148名が「不当解雇撤回と職場復帰」を求めて裁判に立ち上がりました。裁判は、2015年2月、最高裁による上告棄却・不受理の決定がありました。ところが解雇の過程での違法行為などが明らかになったことから、現在、労使間での話し合いによる解決が求められています。

整理解雇後、日本航空では退職者が後を絶たず、どの職場も深刻な人員不足に陥っています。職場は管理強化・労働強化により“自由にものが言いにくい”ばかりか、新人が増え経験者への負担が重くなっています。「人がいない」「時間がない」「部品がない」が常態化して、その上でミスを報告すると個人の責任にされる、など安全が脅かされる状況が進んでいます。

ベテラン乗務員の整理解雇について、国際労働機関(ILO)は、3度にわたり日本政府と日本航空に話し合いで解決するよう勧告を出しています。

いますぐ、日本航空が解雇争議の解決のための話し合いに応じるよう、利用者・国民の声を日本航空社長に届けるため「メッセージカード」にとりくみます。是非とも皆様方のご協力をお願い致します。

## <呼びかけ人>

日本婦人団体連合会会長 柴田眞佐子  
 新日本婦人の会会長 笠井貴美代  
 婦人民主クラブ会長 櫻井幸子  
 全国労働組合総連合女性部部長 長尾ゆり  
 JAL不当解雇撤回国民共闘 支える会

★第一次締め切り  
6月末日  
★最終締め切り  
9月末日

メッセージカードは下記へ送ってください。まとめて届けます。

〒151-0051

渋谷区千駄ヶ谷4-11-9-303 日本婦人団体連合会

〒144--0043

大田区羽田5-11-4 フェニックスビル内 航空労組連絡会

私は、JALをよく利用しま  
 す。仕事をやるベテラン客室乗  
 務員の姿を拝見するとホッとし  
 ます。  
 ベテランパイロットや整備士  
 の存在は安全確保に欠かせませ  
 ん。利用者が命に直結する公共  
 交通機関に求めるのは、安全で  
 す。安心して利用できる航空会  
 社として解雇争議を一日も早く  
 解決し、労使の信頼関係回復を  
 心から願っています。

.....キトリセン.....

日本航空社長 植木義晴 様

【メッセージ】

いますぐ、日本航空は解雇争議の解決のための話し合いに応じること。

<ひとつこと>

(住所)

都道府県

郡市区

町

(氏名)

